

憲法をいかし、いのちとくらしを守る社会を！ 震災復興、原発ゼロへ
ジェンダー平等実現へ 人間らしい雇用と社会保障を 核兵器のない平和な世界を

2012

国際女性デー 埼玉集会

とき 3月10日(土)

13時半～16時半(13時開場)

ところ さいたま共済会館 6F

(参加費300円)



- *文化行事
- *アーサー・ビナードさんの講演
- *質問・交流
- *集会アピール採択
- *パレード(浦和駅まで)



「さいたさいたセシウムがさいた」 ～3・11後の安心をどうつくり出すか～ アーサー・ビナードさん(詩人)

本来なら喜ばしい春の訪れを台無しにしてしまった東京電力福島原子力発電所の事故。放射能物質の拡散で暮らしに危険が迫っています。日々の生活の安全・安心を私たちの力で作り出していきましょう。



《プロフィール》米・ミシガン州生まれ。大学で英米文学を学び1990年に来日、日本語で詩作を始める。詩集「釣り上げては」で中原中也賞を受賞。ビキニの水爆実験を絵本「ここが家だ - ベン・シャーンの第五福竜丸 -」に表す。文化放送のコメンテーターとしても活躍。近著にエッセー「亜米利加二モ負ケズ」。(日本経済新聞出版)。

国際女性デーとは・・・

男女平等・女性の地位向上・平和・より人間らしい暮らし実現のために、世界の女性が連帯して行動に立ち上がる日です。20世紀のはじめ、不況にあえぐアメリカで「パンをよこせ。参政権を与えよ」と女性たちの大規模な集会やデモが行われました。

1910年、この経験を国際的なものに広げようと、女性解放運動の先駆者クララ・ツェトキンが呼びかけたのが始まりです。今では国連事務総長がメッセージを発表する全世界のとりくみになっています。

【主催】2012年国際女性デー埼玉集会実行委員会
(事務局)埼玉県教職員組合 048-824-2511